

## 青森県特別支援学校技能検定・発表会

10月23日（水）、青森市の新青森県総合運動公園マエダアリーナにて、青森県教育委員会主催の青森県特別支援学校技能検定・発表会が行われました。高等部を設置する青森県内の特別支援学校が集まり、日ごろの学習の成果を披露しました。

今回の青森県特別支援学校技能検定・発表会のスローガンは「新たな自分、極めよ技能、輝け未来！」です。

本校は、高等部2学年が職業技能部門の「清掃基礎」、「清掃応用」、「農業分野」、「接客」、「PC入力（各校での実施）」に参加し、1学年がコミュニケーション部門の「パフォーマンス発表」に参加しました。

また、2-6・3-5組は撮影した動画を審査員に視聴していただく、パフォーマンス発表（オープン）に参加をしました。

「清掃基礎」、「清掃応用」に参加した生徒は、普段の清掃やキャリアチャレンジ「清掃」で学習した成果を発揮し、多くの生徒が目標としていた級を取ることができました。

「PC入力」では、作業②の学習で「事務班」があり、そこでの学習を基盤にタイピング練習に取り組み、検定に向けて頑張りました。

「農業分野」は、トマトやジャガイモの大きさや傷を確かめ、計量し、パックや袋に詰めるという内容で検定が行われました。食品を扱うため身だしなみも評価の対象となり、ヘアキャップや手袋を付ける練習も繰り返し行いました。本番では、清潔かつ丁寧に取り組むことができました。

「接客サービス分野」は、お客様に聞こえる声での挨拶や受け答え、グラスやトレイの使い方などの検定を行いました。本番では、広い会場の中でしっかりと聞こえるように大きな声で話したり、良い姿勢を保持したりしながら、接客することができました。

「パフォーマンス発表」に参加した生徒は、高等部祭の閉祭式でも披露した「よさこい」を発表しました。この「よさこい」は、十和田市にある北里大学で活動している「よさこいチーム北里三源色」の学生さんに振り付けを考えていただき、直接、ご指導していただきました。本番では、全身を使い、息の揃ったよさこいを披露し、結果は中級でした。2-6・3-5組も元気に踊り、「輝いていたで賞」をいただくことができました！

この検定・発表会は、生徒のやる気を引き出すだけでなく、企業への理解・啓発を促すねらいもあります。また、民間企業の障がい者雇用や実習の受け入れにつながっていくことも十分に期待できます。

これからの就労や夢の実現、卒業後の社会的・職業的自立に向けて、できることに自信をもって取り組みましょう！



【農業】



【接客サービス】



【自在ぼうき】



【テーブル拭き】



【応用コース】



【パフォーマンス】

# 中学部進路学習の紹介

今回は、中学部2年1, 2, 3組が実施した「産業現場等における実習（現場実習）」について紹介したいと思います。

## 【職場見学・体験の目的】

**1年**  
職場を知り興味をもつ

**1年事業所見学**

**2年**  
働き方を知り夢や希望をもつ

**2年現場実習**

**1年事業所見学**

**3年**  
ライフスタイルへと仕事をつなぐ

**3年高等部受検**

**2年現場実習**

**1年事業所見学**

中学部における「事業所見学」「産業現場等における実習（現場実習）」の目的は上記にあるように、「働く」＝「楽しい」、「わくわくする」、「やりたい」と思う前向きな気持ちを育てることを大切にしています。中学部2年1, 2, 3組は2グループに分かれて10月8日、9日、有限会社金子ファームで黒毛和牛の牛舎内外の掃除、餌の補充をメインに働いてきました。現場実習を終えて帰ってきた生徒の表情は一様に目が輝き、働ききった達成感や満足感が漂い、「成長の跡」が見られました。



【挨拶はしっかりと】



【牛舎内外を掃除】



【出荷で使うロープを準備】



【餌の干し草は重い】



【牛が食べやすい位置に餌を置く】



【餌を食べている牛は可愛い】



【仕事のあとのジェラートは最高】



【牛がお腹を空かせている】